

平成28年度行政評価シート【個表】

平成 28 年 6 月 30 日

評価対象事業		評価者	再開発課担当課長 下平 和彦	
拠点-03 大船駅周辺整備事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	再開発課	
	<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	各部各課	
総合計画上の位置付け	分野	市街地整備	施策の方針	市街地整備の推進

1 事業の目的

対象	市民等
意図	大船駅周辺地区都市(まち)づくり基本構想に定める地区の将来像の実現に向けてまちづくりを進めていくため。
効果	①商業拠点の形成と都市機能の強化による賑わいのあるまち②優しさと快適さを備えた魅力ある都市環境を創造するまち③活気に溢れ暮らしに文化の香りがたどるまちを創造する。

2 平成27年度に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> 各まちづくり計画の検証(到達度、課題抽出等)を行った。 砂押川桜保全再生計画に基づく、住民主体の保全再生活動の支援を行った。 大船駅北第二地区市街地再開発事業(横浜市:組合施行)に係る協議を行った。 事業の推進に必要な資料作成等を行った。
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	26年度決算		27年度決算		28年度当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	177,464人	80,368世帯	177,243人	80,676世帯	176,869人	80,928世帯	・各年3月31日(住民基本台帳)
事業の対象者数							
事業の対象者数							
運営資源状況	決算値(千円)	1,354	1,351	当初予算(千円)	473		
	国県支出金			国県支出金			
	地方債			地方債			
	その他			その他			
	一般財源	1,354	1,351	一般財源	473		
事業経費運営	人員配置数	1.4	1.1	人員配置数	1.0		
	人件費(千円)	10,276	8,233	人件費(千円)	7,671		
	総事業費(千円)	11,630	9,584	総事業費(千円)	8,144		
	市民1人当りの経費(円)	66	54	市民1人当りの経費(円)	46		
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)			

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	2. 廃止・休止による影響は小さいがある
	今後も市が実施すべき事業か	4. 市民生活に寄与するが、担い手として、国・県・民間等での実施も可能
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	○-2. 既に市民等と協働して適切に事業を実施している
		協働実施済の場合のパートナー 砂押川プロムナード桜愛護会など

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す →	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大	見直しの内容	事業へ統合
	<input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする		<input type="checkbox"/> 縮小		
	<input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する		<input type="checkbox"/> その他		
	<input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する →				
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	神奈川県及び横浜市などと連携を図っていく必要があるため。砂押川桜保全再生計画に基づく、住民主体の保全再生活動の支援を行っていくため。		
	<input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする				
	<input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する				

総評(評価に対する考え方、根拠等)	大船駅周辺地区都市づくり基本計画(案)に基づいた各まちづくり計画の検証を進めた上で、引き続き神奈川県及び横浜市などと協議を進め、計画の実施方針を見極めていく。 引き続き、砂押川桜保全再生計画に基づく、住民主体の保全再生活動の支援を行っていく。
-------------------	--

平成27年度事業実施にあたっての課題(前年度未解決の事項を含む)	大船駅周辺各地区のまちづくりの進捗状況を踏まえ、関係計画との整合等を整理し、今後の取扱いについての方針決定 大船駅北第二地区市街地再開発事業(横浜市:組合施行)については、鎌倉市側の影響を考慮した上で、横浜市との協議連携	
課題解決のために行った平成27年度の取組	大船駅周辺地区都市づくり基本計画(案)及び各地区で策定した計画の進捗(到達度)を確認し、課題の抽出を行った。 県道横断デッキの整備、砂押川上空に存在する自転車駐車場の取扱いについて、関係者と協議・調整を進めた。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	平成24年度に、県道横断デッキの計画幅員を3mとし、笠間口前の横断歩道を廃止する横浜市の基本計画が示されたが、現状の歩行者交通量も踏まえ、鎌倉市側の賑わいや歩行者動線に配慮した計画とするための協議・調整	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	市域をまたぐまちづくりに係る協議会設置の有無								
団体名	鎌倉市	横浜市	藤沢市	平塚市	寒川町				
他市実績	有	有	有	有	有				
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	大船駅は横浜市及び鎌倉市の市境に位置することから、当該事業においては神奈川県・横浜市・鎌倉市で構成する大船駅周辺地区整備連絡協議会を設置し、まちづくりに係る調整等を行っている。他市においても同様に市域をまたぐまちづくりに取り組んでいることから、本市においても継続したい。								

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	大船駅周辺地区整備連絡協議会開催回数					単位	回	指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
事業推進にあたっては、神奈川県及び横浜市、本市の三者で情報共有及び調整等を図る必要があることから、調整の場となる同協議会の開催を指標として設定する。	目標値	1	1	1	1	1	1			
	実績値	1	0							
	達成率	100.0%	0.0%							
指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
	目標値									
	実績値									
	達成率									
指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
	目標値									
	実績値									
	達成率									
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方										

● 事業に関する特記事項

<input type="checkbox"/> 第3期基本計画前期実施計画重点事業	<input type="checkbox"/> 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
--	---